

令和5年12月21日

パブリック・コメント実施

施策等に関する下記計画の素案について、市民の多様な意見を十分考慮した上で最終的に決定するためのパブリック・コメントを実施します。

記

1. パブリック・コメント対象案件 ※各計画の内容、特徴等については別紙のとおり

No.	計画・プラン名	担当課
1	福島市高齢者いきいきプラン2024	長寿福祉課・介護保険課
2	第3次福島市障がい者計画	障がい福祉課
3	第3次福島市食育推進計画	健康推進課
4	ふくしまし健康づくりプラン2024	健康推進課

2. 意見の提出期間

令和5年12月21日（木）～令和6年1月22日（月）

3. 素案の閲覧方法

①市ホームページ

②閲覧場所／各担当課、広聴広報課、市民情報室、各支所・出張所、各学習センター、市民活動サポートセンター、西口行政サービスコーナー、アクティブシニアセンター・アオウゼ、こむこむ館、市立図書館、男女共同参画センター

4. 意見の提出方法

①市ホームページから専用フォームで

②上記素案の閲覧場所に備え付けの用紙に必要事項を記入し、持参か専用の封筒で郵送またはファクスで

5. 意見を提出できる方

①本市に住所を有する方

②本市に事務所又は事業所を有する方

③本市に存する事務所又は事業所に勤務する方

④本市に存する学校に在学する方

⑤その他パブリック・コメント制度に係る事案に利害関係を有する方

6. その他

いただいたご意見とそれに対する市の考え方については後日公表いたします。


担当：広聴広報課
課長 八島 主任 松川
電話 024-563-7488（直通）

福島市高齢者いきいきプラン 2024

～心豊かに安心して安全に暮らせる長寿社会の実現に向けて～

健康福祉部

長寿福祉課・介護保険課

目指す姿	すべての人が尊ばれ、生きがいを持ち、心豊かに、安心して安全に暮らせる長寿社会の実現
計画の期間	令和6年度 ～ 令和8年度（3年間）
	<p>●基本目標・成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施策及び介護保険制度の持続可能性の確保、地域包括ケアシステムの深化が重要ととらえ、基本目標を新たに「<u>健康寿命の延伸と地域の支え合いの充実</u>」として掲げました。 ・上記を評価するアウトカム指標として「<u>お達者度</u>」と「<u>高齢者や障がい者などへの福祉に対する満足度</u>」の2つとしました。 <p>●基本方針1 いきいき暮らせるまちつくしまへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動器機能が低下している高齢者が増加傾向 ⇒<u>健康づくりの取組の推進</u> ・コロナ禍を経て、地域活動に関わる高齢者が減少傾向・定年延長などによる就労環境の変化 ⇒<u>高齢者の社会参加促進</u> 取組にあたり、<u>デジタルに親しむ環境づくり</u>を進め、高齢者の社会参加を促進 <p>●基本方針2 高齢者を支える地域体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする高齢者の増加、閉じこもりリスクのある高齢者が増加傾向 ⇒<u>多様な主体による見守りや安否確認などの生活支援・介護予防サービスの体制づくり、地域包括支援センターを軸とした支え合い活動</u> <p>●基本方針3 安心安全に暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年多発する災害 ⇒<u>要支援者を地域で支え合える体制づくり</u> ・要介護者数が増加見込み ⇒<u>介護サービスの持続性・人材確保</u>
意見提出期間	令和5年12月21日 ～ 令和6年1月22日
備考	

担当：長寿福祉課 長寿福祉係
課長 二瓶 課長補佐 深谷
電話 024-525-7656（直通）

担当：介護保険課 介護資格係
課長 渡辺 課長補佐 安齋
電話 024-525-6551（直通）

第3次福島市障がい者計画

～共生社会の実現を目指して～

健康福祉部

障がい福祉課

<p>目指す姿</p>	<p>障がいのある方が自立と社会参加を目指し、自らの能力を最大限発揮し自己実現できるようにするとともに、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら、安全で安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。</p>
<p>計画の期間</p>	<p>令和6年度 ～ 令和10年度（5年間）</p>
<p>check!! ポイント</p>	<p>1 市の障がい福祉施策の基本指針として策定します</p> <p>障がいのある方やそのご家族が生涯にわたって安心して暮らしていける社会の実現を目指し、障がいのある方の自立と共生社会の実現にむけた施策を総合的かつ計画的に推進するため策定します。</p> <p>2 計画の基本理念</p> <p>「障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現」</p> <p>誰もがお互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら、安全で安心して暮らせる共生社会の実現を基本理念とします。</p> <p>3 計画の基本目標</p> <p>(1) 地域生活の支援 (2) 社会参加と自立した生活を送るための支援 (3) 活躍できる社会づくり 新規に設定 (4) デジタル活用による共生社会づくり 新規に設定 (5) 安全・安心で差別のない社会づくり</p> <p>「心のバリアフリー」に関する目標として(3)を、情報アクセシビリティ・コミュニケーションの向上にむけた取り組みに関する目標として(4)を新規に設定しました。市民との共創により計画を推進します。</p>
<p>意見提出期間</p>	<p>令和5年12月21日 ～ 令和6年1月22日</p>

担当：障がい福祉課 障がい庶務係
課長 大泉 係長 鈴木
電話 024-525-3748（直通）

第 3 次福島市食育推進計画 ～未来につなげよう！食力のまち ふくしま市～

健康福祉部 健康推進課


目指す姿	市民の皆さんが家庭や地域社会とのつながりの中で『食力(しょくりよく)』を身につけていくことで、生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができることを目指す。
計画の期間	令和6年度 ～ 令和 11 年度(6年間)
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">check!!</div> ① ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●食力(しょくりよく) とは 食力は福島市が作った造語です。 「食」に関する様々な体験等を通して、「食」の知識と「食」を選択し実践する力のことをいいます。 ● 「食」は、私たちが生きていくために欠くことができません。 豊かな食を将来にわたって維持していくための要素である3つの「わ」-環境(環)・人(輪)・文化(和食)-を大切にしながら食育を推進します。 ●市民の皆さんが食を取り巻く課題等について理解を深め、主体的に実践できるよう、市民、家庭、地域、学校、生産者、行政など様々な担い手と連携し「食環境やネットワークづくり」などを進めていくことで、個人の努力だけでなく、関心のない人等も含めた地域全体、福島市が「食力」を育むことができるまちになるよう、さらなる取り組みの強化を目指します。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>
意見提出期間	令和5年12月21日 ～ 令和6年1月22日
備 考	

担当:健康推進課 健康増進係
課長 菅野 係長 高子
電話 024-597-8616(直通)

ふくしまし健康づくりプラン2024

生涯にわたって安心して健康で暮らせるまち～みんなで創る健都ふくしま～

健康福祉部 健康推進課

<p>目指す姿</p>	<p>全ての市民の皆さんが健康寿命を延伸し、地域で生涯にわたって安心して健康で暮らせるまち「健都ふくしま」の実現を目指します</p>
<p>計画の期間</p>	<p>令和6年度 ～ 令和11年度(6年間)</p>
<p>check!! ポイント</p>	<p>●健康でその人らしい生活を送ることができるよう環境づくりに取り組みます</p> <p>この計画では、がんや脳血管疾患、心疾患等を予防し健康寿命を延ばすための環境づくりに取り組みます。健康寿命を延ばすためには、市民の皆さんがヘルスリテラシー※を向上し健康や医療の情報を上手に活用しながら栄養や運動、休養など基本的な生活習慣づくり、生活習慣病予防等ができるよう進めていきます。</p> <p>※ヘルスリテラシーとは、健康や医療の情報を入手し、理解して活用する力のこと。健康や医療の情報を発信する側がわかりやすく伝えることも求められます。</p> <p>●市民・民間・行政など総ぐるみの健康なまちづくりを推進します</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">民間団体等との連携による</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">地区組織や学校等と連携による</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">事業所や関係機関と連携による</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">一人ひとりの健康を応援する 環境づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">地域の健康づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">職場の健康づくり</div> </div> <p>●福島市らしさを活かした健康なまちづくりを進めます</p> <p>これまで継続してきた様々な取組に加えて、デジタル社会に対応した ICT 技術の活用や大学等の高等教育研究機関との連携、山岳信仰に由来する「健脚文化※」を健康なまちづくりにつなげる新たな取組にもチャレンジします。</p> <div style="text-align: center;">  <p>健康なまちづくり 福島市版</p> <p>～ 福島らしさを活かした主な取組 ～</p> <p>健脚文化、適しお、ICTを活用した健康づくり、いきいきももりん体操、すこやかに生み育てる、健康づくりで競争(共創)チャレンジ、市内大学等との連携</p> <p>民間、市民、行政</p> <p>市民を中心に民間、行政、三位一体による推進体制</p> </div> <p>※信夫山の羽黒神社に奉納される大わらじは、より一層の「健脚」を祈願する意味が込められています。</p>
<p>意見提出期間</p>	<p>令和5年12月21日 ～ 令和6年1月22日</p>
<p>備考</p>	<p></p>

担当:健康推進課 健康増進係
課長 菅野 係長 高子
電話 024-597-8616(直通)